

桃花ダイスキマーケット

秋の大収穫祭



2025.11.15

年間8回オープンする桃花ダイスキマーケット。11月中旬のマーケットは「秋の大収穫祭」として、営業時間を通常の2倍以上に拡大し、生徒が実習でつくった製品を販売しました。当日は650人を超えるお客様にご来店いただきました。

大収穫祭に関するブログ
こちらからご覧ください



1



2



3

- ① 環境メンテナンスコースのパンジーとビオラ苗の寄せ植え詰め放題のブース。1年生徒は今回の秋の大収穫祭で入学後初めて接客します
- ② 食品加エコースが運営する「桃カフェ」でドリンク注文を受ける2年と3年生徒。お釣りの金額を確認しお客様へ渡します
- ③ 食品加エコースのパン・焼き菓子販売ブース。2年と3年の生徒でレジを担当します

東雲の空

Shinonome Sky

今を掘り下げ、未来を見つめる
桃花台学園通信「東雲の空」
あなたはどんな空が好きですか？

2025 TOKADAI
NOV → DEC
2025.12.15 Vol.11



4

「いらっしやいませ」の数だけ お客様との出会いがある



6



7



5

- ④ 特別企画の餅まきタイム。特設会場には多くのお客様が集まりました。餅などの数に限りがあり、取ることができなかったお客様申し訳ありませんでした
- ⑤ 大きな声でお客様の呼び込みと各ブースの案内をする2年生徒。

- ⑥ PTAは駄菓子とガチャガチャを出店。小さなお子さんから昔子どもだった方まで何を購入しようか迷っています
- ⑦ 農業生産コースの野菜販売ブース。白菜や大根、長ネギなどが飛ぶように売れています。卒業生の来店に会話が弾みます



- ⑧ 交流校である笛吹高等学校は実習で製造した味噌とジャムを販売。



8

山梨県障害者職業能力検定

はじまる

今年度も11月から山梨県障害者職業能力検定（以下、検定）が始まりました。この検定について、木村校長と検定を担当する県の産業政策部産業人材課の大森課長が対談をしました。

TOKADAI



YAMANASHI
Prefecture

Principal Kimura

Section Chief Omori

校長／山梨県障害者職業能力検定は、本校が開校した平成27年度に始まったと記憶しています。全国では珍しい県知事が認定する検定など独自性があると思います。検定導入の背景や目的について教えてください。

課長／障害のある方の職業能力は多様であり、企業が雇用を検討する際に、その能力や適性を判断することは容易ではありません。そこで県では、客観的な評価基準を設け、個々の方が身に付けた技能を認定する仕組みをつくりました。これにより、企業とのマッチングを円滑にし、働く意欲をもつ方の職業能力の向上を促進することを目的としています。



課長／県知事の認定でありますので、公平公正であることはもちろんですが、作業手順を明確にするなど、指導にあたる先生方へのアプローチも大事にしています。また、全国アビリンピック（障害者技能競技大会）も念頭に置きながら、企画しています。

校長／毎年、本校職員は検定前の指導者講習会に参加し、職員間で作業手順等を共有するようにしています。



木村 則夫（きむらのりお）

本校 校長2年目 今年度特別支援学校校長会長
令和元年度本校教頭、令和2年度教育庁高校改革・特別支援教育課主幹・指導主事、令和3年度同課 課長補佐、令和4・5年度ろう学校長を経て、現在に至る。

趣味はヴァンフォーレ甲府試合観戦とドライブ

校長／これまでの受検者数が分かれば教えてください。

課長／平成27年度から令和6年度までで延べ1,704名となります。



校長／本校では1年次から受検するよう取り組んでいますが、検定を通じて、障害のある方にどのような力を身に付けてほしいと考えていますか。

課長／就労や職業意識を高めながら、職業に関する技術・技能を習熟してほしいと考えています。また、職種を問わず、手順や作業方法などを理解して実行できる力を身に付けてほしいと思っています。

大森 恵子（おおもり けいこ）

県産業政策部産業人材課 課長 本校学校運営協議会委員
産業人材課人材育成担当の主な業務は、公共職業訓練、県立職業能力開発施設の運営・整備、障害者の雇用促進がある。趣味は茶道

校長／検定で認定された者は就職先に提出する履歴書に記載しています。検定が始まって丸10年が経ちましたが、検定導入当時と現在では企業や県民の認知度の変化や反応はいかがでしょうか。

課長／まだまだ認知度が足りないのが現状ですが、検定のチラシ配布だけでなく、桃花台学園企業対象学校説明会でのPRの効果もあって、企業からの問い合わせも増えてきております。



検定について話をする木村校長と大森課長＝11月11日 校長室

校長／生徒から「受検したが認定されなかった。何が足りなかったのか、認定されるためにどうしたらよいか」と相談されます。本校でも次回の検定で認定されるよう技術面等について指導していますが、どのようなフィードバックや支援が効果的だと考えますか。

課長／可否結果とともに、受検者のみなさまへ「グットポイント」「アドバイスポイント」をお送りしています。検定委員から受検者一人一人へ向けた具体的なメッセージが記されていますので、指導に生かしていただければと思います。職種によって内容は異なりますが、一つ一つの作業について「確認」や「ていねいさ」が大切であることを意識できると認定につながると思います。

課長／設立から年月が経過している職種もあったため、令和3年度から職種ごとに順次内容などの見直しを行いました。現場に合わせた用具の導入や教本を見直すとともに、令和6年度には、唯一設けられていなかった「接客サービス検定」の上級を設定したところです。今後も、現場やアビリンピックなども踏まえて、検定委員から意見を伺い、調整していく予定です。

校長／検定内容などの見直しと同様に、本校も社会の変化や企業が求める人材を踏まえ、カリキュラムなどの検討や見直しをしています。今後共に「進化」していけるとよいと考えています。

◆ 令和7年度 山梨県障害者職業能力検定 実施日一覧 ◆



ビルクリーニング検定 令和7年
11月8日(土)・9日(日)
清掃基本作業 山梨県立就業支援センター

事務アシスタント検定 令和7年
11月29日(土)・30日(日)
文書発送作業 山梨県立男女共同参画推進センター びゅあ総合

農業生産検定 令和7年12月13日(土)
農業基本作業 山梨県立就業支援センター

食品加工検定 令和8年1月10日(土)・11日(日)
食品基本作業 山梨県立男女共同参画推進センター びゅあ総合

接客サービス検定 令和8年1月17日(土)・18日(日)
喫茶サービス 山梨県防災新館 やまなしプラザ オープンスクエア

ビルクリーニング検定 令和8年1月24日(土)・25日(日)
掃除機かけ作業・湿式モップかけ作業
ガラス拭き作業・床磨き作業 山梨県立就業支援センター



ビルクリーニング検定を受検する1年生徒＝11月9日 山梨県立就業支援センター



事務アシスタント検定を受検する2年・3年生徒＝11月29日 山梨県立男女共同参画推進センター びゅあ総合

※ビルクリーニング検定及び事務アシスタント検定の写真はいずれも 県産業政策部産業人材課提供

自分の力を信じて・・・

認定を目指し 検定日まで練習を



作業手順を一つ一つ確認しながら練習に取り組む1年生徒＝11月5日・6日 清掃実習室

1年生徒は、環境メンテナンスの授業でビルクリーニング検定に向けて練習をしました。この検定では、自在ほうきによる床の掃き清掃、タオルによる机の拭き清掃の作業が評価されます。

タオルのたたみ方や絞り方に始まり、机拭きや床掃きの作業手順の一つ一つについて確認しました。生徒は互いの様子を見合いながら、練習を重ねていきました。

1年生徒にとっては、このビルクリーニング検定が検定デビュー戦になります。目指せ認定！

2・3年生徒は、接客・ビジネス実務の授業において事務アシスタント検定に向けて練習をしました。この検定では、文書の三つ折り、あて名シール貼り、封入、封筒の仕分けの各作業が評価されます。

検定本番さながらの緊張の中、各生徒は練習に取り組んでいました。



2・3年生徒は文書やシールがしわや破れなどの不良品にならないように気を付けながら作業を進める＝11月27日 多目的室



◆11月8日(土)・9日(日) ビルクリーニング検定 リフレクション◆

受検を終えて

■1年小澤さん

検定本番はタオルの机拭きで少しミスをしてしまいました。

環境メンテナンスの授業で検定の練習し、本番に向けて何度も復習するよう心がけました。



■1年渡邊さん

授業の他に昼休みの時間に練習しました。上級に認定された環境メンテナンスコースの先輩が練習に付き合ってくれ、アドバイスをいくつか受けました。

家庭では作業の一部を練習して見せてくれましたが、当日は思っていたより長い工程で驚きました。確認作業では真剣に取り組む姿が見られました。

検定は授業での練習成果の確認や定着としてとてもよいと思いました。他の検定についても同様に確認や丁寧さを意識し引き続き取り組んでいってほしいです。

検定直前までご支援・ご指導ありがとうございました。

検定会場へ
応援に駆けつけた

1年
保護者の声

ビルクリーニング検定の様子を視聴しました。モニターからでも緊張感が伝わってきました。

初めての場所、不慣れな状況の中、これまでの学習の成果を出し切ることができたと思います。この貴重な経験を自信につなげ、これから2年間将来への目標をもちながら努力と挑戦を続けてほしいと思います。

最後に日頃よりご指導いただいております先生方本当にありがとうございます。

桃花台歳時記 Seasons of TOKADAI

2025.12.10



◀生徒たちが見上げているのは干し柿。農業生産コースの生徒が農場で収穫した約2,300個の渋柿の皮をむき、吊りました。本校ではこの時季、「オレンジ色のカーテン」が登場します。

環境メンテナンスコースの生徒が整備したパンジー花壇。パンジーは幼苗から丹精込めて育てました。厳しい寒さに耐えて咲いている色とりどりの花を見ると元気が湧いてきます。▶

